

題名【健康経営における Be スタッフィングのサービス】

こんにちは、株式会社 Be スタッフィングの平野です。

今回のテーマは「健康経営における Be スタッフィングのサービス」についてです。

弊社は、愛知県名古屋市にて、研修や人事コンサルタントなど人材に関するサービスを提供しております。

新入社員研修をはじめ、管理職や一般社員に対する階層ごとの研修、能力開発、リーダーシップ、コミュニケーション、メンタルヘルス、ハラスメント研修など、ヒューマンスキルを中心に企業研修を多数行っております。

また、企業コンサルタント及び、社員へのカウンセリングを通し、働く人々の生の声を聴き、前向きな思考や自発的な行動への変革をサポートしております。

人材に関するサービスをご提供し、職場活性化、定着率向上、職場のモチベーションアップ、業績アップ等に貢献しております。

今回の健康経営において、私共から3つのサービスをご案内させていただきます。

■ 管理職または一般社員に対する教育機会

管理職へのメンタルヘルス・ラインケア研修をはじめ、全社員にメンタルタフネスやセルフマネジメント、コミュニケーション研修等を行っております。

1人1人がストレスへの向き合い方や、チーム力強化の重要性を知っていただき、上司の関わり方やコミュニケーションの在り方を見直すことで、メンタル不調者や退職者を出さない職場を目指します。

研修内容

対象	研修名	ねらい
管理職	メンタルヘルス・ラインケア	メンタルヘルスの基本、管理者の役割を認識し、職場活性化に向けた実践法を学習する。
全社員	メンタルタフネス	好転力、視野の拡大、物事の捉え方などを学び、セルフコントロール力を身に付ける。
全社員	セルフマネジメント	価値観や人間性の相違に対しての許容範囲を広げ、自分の感情をコントロールする術を学ぶ。
若手社員、復職者	レジリエンス	前向きになる考え方を知り、ケーススタディを通して、ストレスに向き合う力を醸成する。
管理職、相談窓口担当者	ハラスメント相談の聴き方	ハラスメント問題の対応の重要性、相談対応のステップと実際の聴き方を実習で落とし込む。
全社員	コミュニケーション	相手を尊重しながら、適切な方法で自己表現を行うコミュニケーション能力を習得する。
全社員	ダイバーシティ	非正規雇用をはじめ、外国人や障がい者に対するの対応の心構えと関わり方を学習する。

■ ストレスチェックの実施

50名以上の事業場には既に毎年1回義務付けられていますが、50名未満の事業場でも、ストレスチェックテストを実施する企業が増加しています。

ストレスチェックの実施により、個人の気づきの促進と、集団分析から事業場の課題が見えてきます。この結果を活かすことで、メンタル不調者のいない職場づくりを推進いたします。

■ メンタル不調者への対応

職場のパフォーマンスを向上させるために、心理学等の観点から個人と企業に解決策を提供する従業員支援プログラム（Employee Assistance Program）を行います。

主な業務として

- ・相談窓口業務
- ・メンタルヘルス、ハラスメント対策に関する相談対応
- ・復職プログラム、実態調査、ストレスチェック等のアドバイス等の実施
- ・組織マネジメント等職場活性化のサポート業務

等があります。

新しくスタートする「パワハラ規制法」や「男女雇用均等法」で義務付けられている、相談窓口としての機能も果たします。

いかがでしたでしょうか？

ぜひ、職場を活性化し、業績アップになるよう、一緒に健康経営を行いましょう。

講師

平野 睦（ひらの むつみ）

EAPコンサルタント、産業カウンセラー、（株）Beスタッフィング所属。

今、まさに現場で起きている具体的事例と臨場感あふれるセミナーを展開。

